

地元産業界との連携事業

1. 連携先

ソーゴー印刷株式会社

2. 連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標

2018年に人材の育成と交流，ならびに地域社会の発展に寄与することを目的として，本学部とソーゴー印刷株式会社が連携協定を締結した。ソーゴー印刷は **Slow Life HOKKAIDO** として体験型ツアーの企画・運営を行い，中川町と協同してツアー開発を行っている。その中で，若者である学生の視点を取り入れた取り組みの必要性が浮かび上がってきたため，連携協定に基づいて本学部も加わり，中川町の地域課題の解決を目指すことになった。

中川町の具体的な地域課題は，長期滞在者・移住者を増やすことであるが，短期滞在のリピーターが長期滞在・移住へと結びついていない現状がある。長期滞在者・移住者を増やすために，人文学部の学生を派遣することによって，人々の繋がりを形成し，中川町の暮らし，環境をソフト・ハードの両面から整備することを目標にする。また，2020年度は，新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け，それに対応した産業振興・観光振興のあり方を模索することも大きな課題として浮上し，その解決にあたることも目標に加えられた。

3. 事業の内容

連携事業の初年度である2019年度は町，ソーゴー印刷と一緒に地域のイベントでの出展内容を考えて運営した。チラシ等をデザインして情報発信し，ディスプレイの制作，店舗装飾などを行い，イベントの日には自分たちでブースを運営する実習を行った。合間には，中川町の産業や自然の魅力に触れ，未開拓の観光資源を自らの関心に基づいて掘り起こした。2020年度は，道内旅行関係者へのアンケートやインタビュー，オンラインモニターツアーへの参加などを基に，with コロナ時代のツアーガイドラインを策定したり，新たな観光メニューを提案したりした。来年度は，コロナ対策を盛り込んだガイドラインに基づく観光メニューの開発とその実現に取り組む予定である。